

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	かじがや障害者デイ・サービスセンター	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 長谷川 忠司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護（定員25名）契約者数 25名（平成29年3月31日現在）、延利用日数 5,256日																																				
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th rowspan="2">収支差額</th> </tr> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>116,492千円</td> <td>福祉事業活動</td> <td>113,003千円</td> <td rowspan="8">0千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>82,027千円</td> <td>人件費</td> <td>75,311千円</td> </tr> <tr> <td>川崎市独自加算</td> <td>30,454千円</td> <td>事務費</td> <td>17,347千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>0千円</td> <td>事業費</td> <td>7,983千円</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>0千円</td> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>12,362千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4,011千円</td> <td>施設整備等</td> <td>3,489千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>116,492千円</td> <td>合計</td> <td>116,492千円</td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>	収入		支出		収支差額	福祉事業活動	116,492千円	福祉事業活動	113,003千円	0千円	給付費	82,027千円	人件費	75,311千円	川崎市独自加算	30,454千円	事務費	17,347千円	指定管理委託料	0千円	事業費	7,983千円	拠点区分間繰入金	0千円	拠点区分間繰入金	12,362千円	その他	4,011千円	施設整備等	3,489千円	合計	116,492千円	合計	116,492千円		
収入		支出		収支差額																																	
福祉事業活動	116,492千円	福祉事業活動	113,003千円		0千円																																
給付費	82,027千円	人件費	75,311千円																																		
川崎市独自加算	30,454千円	事務費	17,347千円																																		
指定管理委託料	0千円	事業費	7,983千円																																		
拠点区分間繰入金	0千円	拠点区分間繰入金	12,362千円																																		
その他	4,011千円	施設整備等	3,489千円																																		
合計	116,492千円	合計	116,492千円																																		
サービス向上の取組	・厨房にスチームコンベクションを導入したことで、柔らかく栄養価の高い料理を提供できるようになり、咀嚼機能に制限のある利用者のニーズを満たすとともに食事が一層おいしくなったとの評価を得られ、食べ残しの量も減少している。																																				

3. 評価（評価段階：5→1,標準：3,加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	5	10
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・利用者一人一人の身体状況を観察し、医師・PT・OT等多職種の下、写真やイラストを取り入れた個別の支援マニュアルを作成・支援しており、利用者の安定した日中の生活につながっている。 ・加齢による身体機能の低下・家族等の高齢化による介護力の低下により入院や短期入所が増える傾向にあるが、介護・医療面で生じた家族の負担等の課題に対して迅速に相談・情報提供を行い、関係機関とも連携しながら丁寧に支援し、併せて安全な通所方法を個別に検討・支援した。その結果、通所を継続することができ、利用者・家族の安心にもつながり、80%を超える利用率を維持している。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由) ・支出については、老朽化施設の修繕を的確に行う中でも、消耗品等の節約と節減に努めることにより、予算内で執行を行った。 ・収入については、利用実績の維持と安定収入に努め、収入見込額を上回る収入があり、収支は0千円だった。 ・法人の経理規程に則り適正に金銭管理を行った。内部監査を受けたが、不備や指摘事項はなかった。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	5	10
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・健康管理を推進するため「口から食べること」の維持を重視し、口腔ケアをはじめ、食形態・食事の姿勢・介助方法の検討を歯科医等の指導の下で継続実施した結果、健康や摂食・嚥下機能が維持され家族の理解もさらに深まり、定期的な歯科通院や在宅での歯磨き徹底等につながっている。また、スチームコンベクションを導入し食事内容を充実させたことが利用者から評価されている。 ・権利擁護への取組として「虐待防止チェックリスト」によるセルフチェックを定期的に行い、また「権利擁護を意識した利用者支援」をテーマとする年間を通じた検討会では、言葉遣いや接遇方法の改善に取り組み、実践につなげている。 ・満足度調査や利用者会・家族会等、意見収集の多様な方法を用意しており、サービス内容・職員への信頼感等、高い評価を得られている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・祝祭日を平日同様の体制で運営しており、生活リズムの維持と介護の軽減につながり、利用者・家族から高い評価を得ている。 ・職員がそれぞれの立場に応じて必要な研修を受けられるよう調整されている。また、職員と家族がともに学ぶ「家族研修会」を継続的に開催しており、関係者のスキルアップと最新情報の共有が図られている。 ・重度の身体・知的障害者の身に起きる危険を自覚し取り組んだ結果、医療受診を要する事故が0件であった。 ・地震・土砂崩れ等様々な災害を想定した避難訓練を実施し、上階の老人いこいの家との間で被害か所に応じて必要な応援をし合う仕組みを検討した。また、家族との緊急連絡方法としてメールや携帯電話を用いた訓練を行っている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	4	4
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の保守管理については、総合管理委託によって計画的に実施されている。また、施設の老朽化と利用者の重度化が進む中、計画に基づいて着実に修繕を実施している。 ・敷地内に指定管理者が新たに倉庫を購入・設置し、散在していた利用者のための活動用具を1か所に集めたことで準備と片付けにかかる時間が短縮でき、活動をより充実させることができた。 					

4. 総合評価

評価点合計	78	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準:C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・施設内での支援にとどまらず、訪問介護事業所の支援員に介護技術を伝えることによって利用者の安全な在宅生活と介護負担の分散を図るなど、在宅生活を含めた利用者の生活全般を意識した支援を行うことにより、利用者・家族それぞれから生活のよりどころとして信頼されていることが見てとれる。
・地域とのつながりについては、毎月発行する「かじがや通信」の掲示を近隣商店に依頼したり、花壇の整備等に取り組んでいる。また、ボランティアによる演奏会や人形劇には、近隣住民や保育園にも案内をして、利用者を含めた「地域の催し」とすることで地域に根差した施設づくりに取り組んでおり、高く評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

--